

大藏書記官 入間野武雄君

大藏書記官 廣瀬 豐作君

大藏書記官 大矢半次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

○岡田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前

回委員長ヨリ總理大臣ニ對シテ、國務大臣ノ本委員會ニ於ケル答辯ノ態度ニ付キマシテノ意見ヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、併シ其時ニハマダ速記録ハ完成シテ居リマセヌノデ、速記録ノ完成ヲ俟ッテ、政府ニ於テモ、閣員諸君ニ於テモ御覽ヲ願ヒ、私モ能ク之ヲ熟讀シタ上デ、改メテ政府ニ對シ、御質問致スカモ知レヌト云フコトヲ、政府ニ申上ゲテ置イタノデアリマス、ソレデ速記録ヲ讀シテ見マシタケレドモ、私ハ當時ノ總理大臣ニ對スル質問ノ訂正ノ必要ヲ認メマセヌ、仍デ此場合、アノ私ノ質問ニ對シテ、總理大臣ノ御話ヲ伺ヒタイト存ジ

マス

○岡田國務大臣 先般委員長ヨリ御注意モ

アリマシタガ、速記録モ能ク讀シテ見マシタ、政府ト致シマシテハ此臨時利得稅ノ御質疑ニ對シマシテハ、本會議、委員會ヲ通ジテ十分御説明ヲ致シタ積リデ居リマスカ、御不滿ノアリマシタコトハ洵ニ遺憾ト致シマス、申ス迄モナイコトデアリマシテ、委員諸君ノ御質問ニ對シ、誠意ヲ以テ御説明ヲ致スベキコトハ、是ハ論ノナイコトデアリマス、政府ハ終始誠意ヲ以テ御答致ス考デ居リマス

○岡田委員長 只今ノ總理大臣ノ御話ハ一

應之ヲ諒承致シマス、仍テ質問ヲ續行致シテ、大山君ノ質問ヲ許シマス

○大山委員 私ハ今ノ總理大臣ノ御話ニ付

キマシテハ、委員長ガ既ニ御諒解ニナッタコトデアリマスルカラ、其事ニ付テハ彼此レ申上ゲマセヌガ、此機會ニ總理大臣ニ向ッテ伺ヒタイノハ、總理大臣ハ臨時利得稅ニ付キマシテハ、現大藏大臣ノ高橋サンヨリハ、深い關係ヲ御持チニナッテ居ルノデアリマス、申サバ其當時ハ高橋サンハ大藏大臣デナカッタ、藤井大藏大臣ノ時分ニ此臨時利得稅ト云フモノガ草案サレタモノナノデアリマス、當時昭和十年度ノ豫算ノ編成ニ付

キマシテ、總理大臣トシテハ非常ナ苦盃ヲ

御嘗メニナッタ如ク拜承致シテ居リマス、ソレ故總理大臣トシテハ、此臨時利得稅ノコトニ付テモ、當時ノ經濟界ニ及ボシタ大キナ波動、アノ波動ニ付テモ十分御承知ノコトデアラウト思ヒマス、ソレヲ押切ッテ之ヲオヤリニナッタコトニ付キマシテハ、定メシ深キ御考ノアラセラレタコト、察スルノデアリマス、此場合總理大臣ニサウ云フ意味ヲ以テ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマスカ、一體此臨時利得稅ハ、私ハ政府ノ説明ノ如何ニ拘ラズ、其結果カラ見マシテ、一種ノ増稅デアル、大増稅デアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、名ハ新シキ新稅デハアリマスルケレドモ、此建前カラ申シマサルナラバ、營業收益稅ノ全額ニ相當スル十割以上ノ大増稅、所得稅カラ申シマスルナラバ、若シ一億五千萬圓ノ所得稅ノ中カラ勤勞所得、資産所得ニ屬スルモノヲ除キマシテ、他ノ營業所得ニ對シマスル所得稅額カラ申シマスルナラバ、是亦殆ド十割ニ相當スル大増稅デアルノデアリマス、總理大臣ガ増稅ヲ行ハナイト云フ組閣當時ノ御聲明ガアッタニ拘ラズ、斯ノ如キ増稅ヲ敢テ爲サルト云フ其御苦心ニ對シテハ、吾々ハ諒トスル所ガアリマスルケレドモ、其増稅ヲ

行ハナイト云フ御聲明ニ自ラ拘束サレマシ

テ、サウシテ此新シイ稅ヲ御起シニナルト云フコトニナッタノデハナカラウカ、ドウ考ヘマシテモ、臨時利得稅ノ狙ッテ居ル所ハ、營業所得全般ニ對シ適用ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、唯其限度ハ、下ノ低イ程度ノ所ニ及バナイ、上ノ方ニ向ッテハ營業所得全部マデ及ンデ行クト云フコトニ相成ルノデアリマス、而モ其額ガ今申ス通り非常ニ莫大ナ額ニナッテ居ルノデアリマス、此増稅ヲ行ハレマスル所以ノモノハ、吾々ガ有ユル機會ニ於テ伺ッタ所ノ其根本ノ理由カラ申シマスルナラバ、要スルニ赤字克復ノ一ツノ方法トシテ爲サレテ居ルト云フコトハ申ス迄モナイコトデアル、赤字克復ノ中ニハ公債モアリマセウ、又増稅モアリマセウ、要スルニ歳入ノ増加ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、公債發行ニ行クカ、増稅ニ行クカ、此二ツノ途ヨリ外ニナイ、其公債ノ發行モ相當巨額ニ上ッテ居ル際、臨時利得稅トシテ三千百萬圓ノ増稅ヲ爲サル、斯ウ云フコトニ付テ此臨時利得稅ノ創設ノ本當ノ理由ト云フモノハ何處ニアルノカ、是ガ先般來私ガ大藏大臣ニ向ッテ度々伺ッタ所デアリマス、然ルニ私ノ同僚ナリ、吾々ガ御尋ヲスル機會毎ニ、ドウモ理由ガハッキリシナ

クナッテ來ル、其臨時利得税ノ創設ノ其當時、昭和十年度ノ豫算編成ト絡ンデ御考ニナリマシタ其當時ノ本當ノ理由ト云フモノヲ、今一應總理大臣ノ御口カラ拜承致シタイト思フノデアリマス

○岡田國務大臣 我國經濟界ノ情勢ヲ見マスト、マダ全般的ニ活況ヲ呈スル迄ニハ到ッテ居リマセヌ、即チ國民中ニ不況ノ域ヲ脱セザルモノモ少クナイト思フノデアリマス、一面ニ於キマシテハ一部ノ産業ハ時局ノ好影響ヲ受ケテ、著シク收益ノ増加ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、是等ノモノニ對シテ臨時ノ特別税ヲ課シテ、其増加セル利益ノ一部ヲ納付セシメマスルコトハ、現在ノ社會情勢ヨリ見テ適當ナ方策デアリマスト共ニ、又一面國庫收入ノ一助ヲラシムルコトヲ可ナリト存ジタ次第デアリマス、即チ本税ハ現在ノ經濟界ノ特殊ナル情勢ト、國民社會生活ノ實情ニ應ジテ設ケラレマシタ臨機ノ方途デアリマシテ、國民負擔ノ全般ノ均衡ヲ圖リ、財政ノ根本的強化ヲ策セントスル、一般的ノ税制整理ニ付キマシテハ、他日別途ニ考慮致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○大山委員 ソレハ此間カラ度々繰返サレテ承ッテ居ル通りデアリマス、ソレガ其言葉

ノ中ニ能ク仔細ニ御檢討ニナリマスレバ、

非常ナ矛盾、非常ニ多端ニ互ッテ居リマス、其理由ガ多端ニ互ルコトハ構ヒマセヌガ、非常ナ矛盾ガアル、例ヘバ社會政策ト仰シヤルガ、社會政策ト云フモノハ、決シテ斯様ナ源泉比例課税ニ依ッテ達セラレルモノデハナイ、ヤリ方ガ確ニ矛盾ガアル、今ノ社會政策カラ言フナラバ、百圓ノ所得ノ者ニ對シテモ、千圓ノ所得ノ者ニ對シテモ、同ジ率ノ課税ヲスルト云フコトハ社會政策デハナカラウト思フ、カルガ故ニ、現在ノ制度ノ税制ノ建前ハ、綜合累進課税ノ建前ニナッテ居ル、然ルニ法人ノ所得ニ向ッテ、其源泉ニ付テ比例主義ノ課税ヲ御採リニナルト云フコトハ、萬已ムヲ得ナイ事情ノ下ニ、茲ニ何分カラ含メテ行クト云フコトガ必要デアルト云フノデ、現在デハ超過所得ノ所ニ對シテ別ノ税ヲ拵ヘテ御ヤリニナルト云フコトハ、決シテ社會政策ノ當ヲ得タモノデヤナカラウト私ハ思フノデアリマス、ケレドモ斯様ナ税制ノ技術上ノ問題ヲ總理大臣ニ伺ッテ所デ、是ハ甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、是ハ御答辯ガシ惡イガラウト思ヒマスカラ、ソレハ避ケマスルガ、全般的

ニ尙ホモウ一應伺ヒタイノハ、只今御説明ノアリマシタ通り、又度々今マデ繰返サレマシタ通り、一般的ノ税制整理ヲ果シテ本當ニ爲サル御決心デアリマスカドウカ、爲サルトスルナラバ何時之ヲ爲サルノデアリマスカ、是ハアナタノ内閣、即チ岡田内閣ノ組閣ノ當時カラノ御約束ニナッテ居ルコトデアリマスルガ、何時御著手ニナッテ、何時ソレヲ實行爲サルノデアリマスルカ、其御積リヲ伺ヒタイト思ヒマス

○岡田國務大臣 一般的税制整理ハ洵ニ難カシイコトデアリマシテ、是ハ從前カラ色色試ミラレテ居ルノデアリマスルガ、解決ヲ得ナイノデアリマス、私トシマシテハ一般的税制ノ整理ハドウシテモヤラネバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ追ッテ御協賛ヲ願フベキ所謂内閣審議會、是ガ御協賛ヲ願ヘマシテ設置ガ出來マシタナラバ、此處デ審議セシメテ、成ベク速ニ結論ヲ得ルヤウニ致シタイト思フテ居ルノデアリマス、是ハ併シ非常ナ困難ナル問題デアリマスカラ、急速ニ審議ヲ終ッテ結論ヲ得ルト云フコトハ、中々難カシイコト、思ヒマシ、難カシイコトデアリ代リニ又ヤラネバナラストコト、考ヘテ居ルノデアリマスカラ、本氣デヤリタイト思ッテ居リマス

○大山委員 之ニ關聯シマシテ、昨日ノ豫算總會ニ於テ岡田首相カラ御説明ノアリマシタ地方財政調整交付金ニ關シマシテ、尙ホモウ一言御伺シタイ、昨日ノ豫算總會ニ於テ、地方財政調整交付金モ中々難カシイコトデハアルケレドモ、御協賛ヲ願フ國策審議會ニ第一ニ之ヲ委ネル積リデアアル、斯ウ云フ御話デアッタヤウニ伺ッテ居ル、サウスルト、國策審議會ニ先ヅ第一ニ掛カルモノガ地方財政調整交付金問題デアルト、斯ウ理解シテ宜シウゴザイマスカ、尙ホ一般的ノ税制整理ト云フコトハ中々難カシイカラ、是モ國策審議會ニ掛ケル、併シソレハ後廻シニナル、斯ウ云フ意味ニ拜承シテ宜シイノデアリマセウカ、モウ一應念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○岡田國務大臣 マダ此處デ國策審議會ノコトニ付テハッキリ申上ゲルト云フコトハ少シ出來マセスケレドモ、可ナリ大キナ機關ヲ拵ヘマシテ、部門ヲ分ケテ審査ヲシタイト思ッテ居リマス、ソレデ地方財政調整交付金ハ、所謂市町村ノ債務ノ整理等ニモ關係ヲ致シテ參リマス、負債整理等ニモ關係シテ參リマス、ソレカラ此税制ノ整理ニモ多少ノ關係ヲ有ツト思ヒマス、是等ハ並行シテ審議スベキモノデアラウト思ヒマス、

併シ地方財政調整交付金ノ如キハ、是ハ成
ベク急ガナケレバナラヌモノデアリマス
カ、出來ルダケ急イデヤリタイト考ヘテ居
リマス

○大山委員 負債ノ問題ハマア別ト致シマ
シテ、地方財政調整交付金ノ問題ノ起リマ
シタノハ、是ハ私カラ彼此レ申上ゲルマデ
モナイコトデアリマスルガ、今ヤ地方町村
ノ財政ノ窮迫ト云フコトハ、實ニ焦頭爛額
ノ急ニ迫ッテ居ル、ソレデ何故サウ云フコト
ニナツカト申シマスレバ、是ハ一般ノ税制
ニ最モ深い關係ガアルノデアリマスガ、要
スルニ負擔ノ不均衡ガ非常ニ地方ノ財政ニ
禍ヒシテ居ル、其爲ニ茲ニ來テ居ル、都市
ト農村トノ其負擔ノ不均衡ガ地方ノ財政ヲ
益ニ窮迫困難ニ陥レテ居ルト云フコトハ、申
スマデモナイコトデアル、此困難ノ地方ノ
財政ヲ根本的ニ整理スルト云フコトニ付テ
ハ、ドウシテモ中央地方ヲ通ジタル一般
的税制整理、ソレヲ根據ニ置イテヤラナケレ
バナラヌコトデハナカラウカト私ハ考ヘ
ル、中央ノ國庫ノ費用及地方費ノ分配、是
等ヲ適當ニ按排致シマシテ、サウシテ其財
源モ能ク考慮致シマシテ、中央ノ國庫ノ財
源トナルベキモノ、地方ノ財政ニ委ヌベキモ
ノ、是等ヲ適當ニ按排シテ、サウシテ各都

市ト農村トノ負擔ノ均衡、衡平ヲ圖ッテ行ク
ト云フコトガ根本ニナラナケレバ、一時的
ノ交付金ヲ吳レタカラト云ッテ、ソレデ地方
ノ財政ガ建直ルモノデハナイ、即チ何方ガ
急デアルカ、何方ガ緩デアアルカト申シマス
レバ、地方ノ財政調整交付金ト云フモノハ、
今最モ急ヲ要シテ居ル所ノ、詰リ應急藥デ
アル、斯ウ私ハ考ヘル、若シ岡田内閣ノ組
閣ノ當時ニ、一般ニ向ッテ聲明ヲサレタヤウ
ニ、中央地方ヲ通ジタル行財税制ノ整理ヲ
完全ニ爲サツタナラバ、地方町村ノ財政調整
交付金ナドト云フモノハ其必要ガナクナル
ベキデハナイカ、斯ウ私ハ考ヘル、寧ロサ
ウデハナカラウカ、併シソレヲ待テナ
イ、ソレヲ待テナイカラ吾々ガ六十
五議會ニ、三派聯合全會一致デ、地方財政
調整交付金ニ付テハ決議ニナッテ居ル、
ソレヲ悠々閑々ト是カラ研究ヲシテ、
是カラ將來出來ルダラウト豫想サレ、
拵ヘヨウトサレテ居ル審議會ニ掛ケテ見
ヨウ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ル、是モ相當
時日ガ掛ルダラウ、斯ウ總理大臣ガ昨日
豫算總會ニ於テ御話ニナツタ、其間ノ繋ギ
ハドウスルカ、繋ギハ適當ニヤッテ行ク、
私ハ寧ロ一般ノ税制整理及之ニ關聯シマ
シタル中央地方ノ財政整理、是等ノコトガ

根本的ニ行ハレル迄ノ繋ギガ、即チ地方財
政調整交付金デアルベキモノデヤナカラウ
カ、地方財政調整交付金ノ最モ必要ナノハ
却テソコニアル、今ガ必要ナノデヤナカラ
ウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、今總
理大臣ハ幸ニ是ハ並行シテ行ハルベキモノ
ダ、斯ウ仰シヤッタ、並行シテ行ハルベキモ
ノダト云フ御理解ガアルトスルナラバ、一
般ノ税制整理ガマダ何時ノコトカ分ラヌノ
ニ拘ラズ、突然トシテ臨時利得稅ト云フモ
ノヲ茲ニ御創設ニナツタノハ如何デアルカ、
之ニ向ッテ私ガ先般來大藏大臣ニ伺ッテ居ル
ノハ、大正十五年ニ一般的税制整理ヲ一應
爲サツテ、サウシテソレニ依ッテ行ハレテ居
ル所ノ税制ノ建前ハ、時勢ノ進運ニ副ハナ
イモノガ多々アル、之ヲ整理シテ行カナケ
レバナラヌ、斯ウ云フ風ニ現在ナッテ居ル、
ソレデ是ハ何時ノコトデアアルカ分リマセヌ
ケレドモ、最近ノ機會ニ一般的税制整理ヲ
發案ヲシヨウ、サウシテ國策審議會ノ審議
ニ俟タウ、今ヤ之ヲ建變ヘヨウ、改造シヨ
ウ、此母屋ノ改造ヲシヨウト云フ時ニ、態
棟ヲ別ニシタ建物ヲ「バラック」デアルト稱
シテ、ソコニ御建テナナラウト云フ其御趣
旨ヲ伺ッテ居ル、設計ヲ伺ッテ居ル、殊ニ態
棟ヲ別ニシテ御建テナナル所ノ、此「バラッ

ク」ハ一般的ノ改築ヲ爲サル場合ニハ、全部
御取拂ニナル積リナノカ、或ハ又ソレハソ
レデ内部ノ一部ニ取入レテ、サウシテ其儘
御使ヒニナル積リデアアルノカ、ソレヲ伺ッテ
居ル、所ガソレニ對スル明確ナル御返事ガ
ナイ、仍テ此機會ニ於テ總理大臣ニ御伺ス
ルノデアリマスルガ、臨時利得稅ヲ御設ケ
ニナツタ趣意ハマダ私共ニ納得ハ行キマセ
ヌ、納得ハ行キマセヌケレドモ、御提案ニ
ナッテ居ルコトハ是ハ事實ナノデアリマス
カラ、其將來ニ向ッテノ臨時利得稅ノ運命ニ
付テ御伺スルノデアリマスルガ、是ハ一般
的税制整理ヲ爲サル時分ニ御取拂ニナル積
リノデアリマセウカ、或ハ一般的税制整理
ノ中ニ織込マレテ、矢張將來トモ行クベキ
モノデアアルノカ、或ハ其時ハ其時ノコト、
シテ、今ノ所デハ半永久的ニ御考ニナッテ
居ルノデアアルカ、今一應總理大臣ノ御口カ
ラ之ニ關スル、臨時利得稅ノ將來ニ向ッテ
ノ御豫定ヲ伺ッテ置キタイ、理由書ニハ當分
ノ内ト書イテアルガ、當分ノ内トハ何時迄
カト云ッテ、此間カラ伺ッテ見テモ要領ヲ得
ナイ、總理大臣ガ臨時利得稅ヲ御設ケニ
ナツタ以上ハ、一般的税制整理ヲヤル御積
リノアル總理大臣トシテハ、其時ニハドウ
爲サル積リデアアルノカ、ソレヲ御伺シタイ

ノデアリマス

○岡田國務大臣 臨時利得税ハ臨時ト名ニ冠シテアリマス如ク、臨時ノモノデアリマス、ソレデ先ノコトヲ私ノヤウナ素人ガ申上ゲルノハ少シ行過ギテ居ルカモ知レマセヌ、私ハ中央地方共ニ税制ノ整理ハ是非ヤリタイト考ヘテ居ルノデアリマス、私ノ考ヘテ居リマスノハ、一般的税制整理ガ出來マシタナラバ、是ハナクナルノデハナイカト思ッテ居リマス

○大山委員 サウ致シマス、一般的税制整理ハ近ク設ケラレマスル國策審議會ニ御掛ケニナルベキ御用意ヲナサル、而シテ其一般的税制整理ヲオヤリニナル時ニハ、臨時利得税ハナクナルガラウ、ナクナルベキモノダト思フ、斯ウ云フ御答デアルトスルナラバ、一般的税制整理ヲナサル迄ノ、是ハ本當ノ臨時ノモノト、斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマスルカ、重大ナコトデアリマスカラ、尙ホ一應念ヲ押シテ置キマス

○岡田國務大臣 ドウモ先ノコトヲハッキリ申上ゲルコトハ、私ノヤウナ素人ニハ甚ダ困リマスガ、一般的税制整理ガ出來マシタナラバ、此税ハナクナルカモ知レスト私ハ思ッテ居リマス

○大山委員 御設ケニナッタ時ノ趣旨、御考

ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、將來ノコトヲ私

ハ總理大臣ニ御見透ヲ付ケテ戴イテ、二年三年先ノ御約束ヲ願ッテ見タ所ガ仕方ナイ、臨時利得税ハ斯様ナ大增税デアリマス、是ハ只今申上ゲマス通り營業收益税ノ總額ニ相當スル増税、而モ營業收益税ノ方ハ八百圓以上ノ者ニ對シテ課シテ居ル、之ヲ六千圓以下ノ所得ノ者ヲ除外シテ考ヘテ、其總額カラ對抗シテ行クナラバ、臨時利得税ガ三千百萬圓、併シ是ハ將來ハ四千萬圓、五千萬圓ニモナルト云フ政府ノ御見込デアアル、營業收益税ノ上ノ方ダケニ持ッテ行クナラバ、是ハ十三割ニナルカ、十五割ニナルカ非常ナ増税デアアル、營業收益税ノミカラ考レバサウデアアル、所得税ノ方カラ申シマシテモ、純然タル勤務所得、或ハ純然タル資産所得ト云フモノヲ除外シテ、營業所得ノミニ付テ考ヘマシタナラバ、是亦十割ニ相當スル額デアラウト思フ、而モ所得税ノ下ノ方ヲ切りマシテ、或ル程度ノ、是デ豫想シテ居ル所ノ六千圓ナリ七千圓ナリカラ上ノ方ノモノダケニ向ッテ課税ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、此四千萬圓ト云フ程度ノモノ、五千萬圓ト云フ程度ノモノハ、將來共ニ非常ナ増税ニナル、十五割ニナルカ、十六割ニナルカ是亦分ラ

ス、斯様ナ大增税ヲナサルノデアリマス、而モソレヲ岡田内閣ハ増税ハヤラスト言ハレタアナタガナサルト云フニ付テハ、餘程御心中ニ政治的良心ノ呵責ニ御遭ヒニナッテ、隨分御苦シミニナッタダケニ、是ハ一體何時迄置カレルノカ、一般的税制整理ヲスルノニ付テハ是ハドウシタラ宜イカ、是レ位ヲ伺フノデアリマス、是ハ臨時利得税其モノ、名ハ臨時デアアル、又新シキ税ノ創設デアアルノデアリマスケレドモ、實ハ大增税デアアルノデアリマス、非常特別大增税ト言ッテ宜シイモノデアアル、其増税デアアルノデアリマスカラ、其期間ニ付テ臨時ト仰シヤリ、當分ト云フ言葉ヲ御用ヒニナッタ、其處ニ苦心ノアル所ガアルデアラウト思ヒマスカラ、ソレハ一體當分ト云フ御豫定ハ、ドノ位ノ御豫定デアッタノデアアルカ、ドノ位ノ御見込デアッタノデアアルカ、一般的税制整理ヲナサラウト云フナラバ、中央、地方ヲ通ジテノ一般税制整理ヲナサル、此時ニハ此モノハドウスルカ、其位ノ御見當ハオアリニナッタコト、思ッテ伺ッタノデアリマス、唯今日御考ニナッテ、ソレハナクナルベキモノト思フ、斯ウ御話ニナッテ居ル、ソレ以上ノ御

答ガ出來ヌトスレバ、其程度ニ止メテ置キマスルガ、本當ニアナタハ國策審議會ニ向ッテ、是ハ出來ルカ出來ヌカ分ラヌモノデアルカラ、ハッキリトハ申上ゲラレマセヌケレドモ、國策審議會ヲ御設ケニナッテ、其國策審議會ニ向ッテ一般的税制整理ヲ本當ニ御掛ケニナル御積リデアアルノカ、是ハ中々困難ナ事デアアルケレドモト云フヤウナ御言葉ガアリマスガ、其困難ヲ排シテ、確ニ之ヲ御掛ケニナルト云フ御約束ガ願ヘルノデアリマスカ、ドウデスカ

○岡田國務大臣 私ハ國策審議會ガ若シ出來マシタナラバ、税制ノ整理ハ之ニ掛ケルト云フコトヲ御約束シテ差支ナイト思ッテ居リマス

○大山委員 サウ致シマス、此臨時利得税ノ運命ト云フモノヲ、稍、吾々モ臆ゲナガラ想像スルコトガ出來マスルカラ、此點ニ付キマシテハ、尙ホ吾々ノ同僚各位ノ又御意見モアラウカト思ヒマスノデ、私一人デ彼此レ之ヲ申上ゲルコトハ止メマス、差控ヘテ置キマス

一方地方財政調整交付金ニ付テハ、第一ニ之ヲ國策審議會ガ出來レバ提案スルト云フコトハ、昨日ノ豫算總會デ御言明ニナッタコトデアリマスカラ、是ハ間違ナイノデゴ

ザイマセウガ、先程ノ御話カラ申上ゲマスルナラバ、竝行シテ行クモノグラウト仰シヤッタノデアリマスガ、地方財政調整交付金ノ方ハ、ドウ云フ運命ニナリマスカ、此席ニ於テ尙ホモウ一應御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田國務大臣 先キノ事ニナリマシテ、大分細カイ所ニ入りマスノデ、素人ノ私カラハ甚ダ行過ギタコトヲ言フヤウニナルカモ知レヌト思ヒマスガ、地方財政調整交付金ノ如キハ、ヤリ方ガ旨クナケレバ、是ハ效果ハ舉ラヌト思フノデアリマス、ソレニ付テ大山君ノ言ハレタ如ク、一般的税制整理ト大ナル關係ヲ有ツト思フテ居ルノデアリマス、一般的税制整理ノ、行クベキ先ノ途ノ見透シガ付キマシタナラバ仕合セデ、餘程早く出來ルト思フノデアリマス、併ナガラ是ハ急ヲ要スルモノデアリマスカラ、成ベク早く、急イデヤラレルモノナラヤリタイト思フテ居リマス

○大山委員 ドウモ今ノ御話デ、又少シ疑ヲ有ッテ來タノデアリマスガ、是ハ急ヲ要スルコトハ無論ノ話、先程申上ゲル通り、地方財政ハ今焦頭爛額、焦眉ノ急ナノデス、ソレデ一般的税制整理ヲ合セ考慮シナケレバナラヌコトハ勿論ノ話デアリマスケレ

ドモ、取敢ズ「カンフル」注射ノ意味ニ於テモ、此地方財政調整交付金ハ御ヤリヲ願ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、ソコデ昨日ノ御言明ニ依ッテ、我黨ノ島田君ハ政府ノ誠意ノ片鱗ヲ汲取ラレタガ、併シ今ノ御話ノ如クニナッテ、マダ是ガ長引クヤウデアリマス、餘程重大ナル結果ニ陥リハセヌカト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ

之ニ掛ケテ、サウシテ善處スルト云フ其間ノ繋ギハドウナサルカト言ヘバ、繋ギハ各地方々々ノ實情ニ即シテ、相當ニヤッテ行ク積リデアル、斯ウ云フアナタノ御言明ヲ、政府ノ誠意ノアル所ト諒解シテ、サウシテ昨日ノ豫算ガ通ッタコトハ申ス迄モナイノデアリマス、臨時利得税及赤字公債ニ關聯致シマス所ノ本委員會ニ於テ、一般的税制整理ト絡ンデ伺ッテ見ルト、一般的税制整理ト併セテ考慮シツ、先ヅ第一ニ地方財政調整交付金ヲ御掛ケニナル、斯ウ考ヘテ宜シイノデアリマス、少シ諄イヤウデアリ

マスケレドモ、私ハ御掛ケニナル其時期、或ハ是ガ實行サレル場合ト云フモノニ非常ナ期待ヲ有ッテ居ルカラ御伺スルノデアリマス、今一應地方財政調整交付金ヲ御提案ニナル國策審議會ガ、是ハ多分出來ルト思ヒマスガ、若シ出來ナクテモ、凡ソ此位ノ用

意ガアル、其用意ヲ御伺スレバ吾々ハ事足ルト思フ、凡ソノ御見込ヲ伺ッテ見タイ

○岡田國務大臣 國策審議會ハ是非設置スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、此國策審議會ハ第一ニ此地方財政調整交付金ノ問題ヲ掛ケタイト思フテ居リマス、サウシテ成ベク早く其結論ヲ得ルヤウニ致シタイト思フテ居リマス

○大山委員 其御言明デ、私ハ地方財政調整交付金ノ問題ニ付テハ、其程度ニ止メテ置キマス

先程伺ヒマシタ點ヲ要約致シマス、地方ノ財政ガ疲弊困憊ニ陥ッタノハ、國費、地方費ノ分配及各都市ト農村トノ負擔ノ不均衡、是等ガ原因ヲ致シマシテ、サウシテ益、都市ト農村トノ經濟力ノ間ニ非常ナ懸隔ヲ來シ、現在ノ所デハ其地方費ノ負擔ニ堪ヘ兼ねテ、地方ノ資産家ハ、或ハ都市ニ轉出スルト云フコトニ相成ッテ居リ、益、地方ノ財政ヲ窮乏ニ陥レツ、アル、又連年地方ノ救済ノ事業ヲ起シ、其事業ノ負擔ガ必ズ四分ノ一ナリ、三分ノ一ナリ、其地方ノ負擔トナッテ、ソレハ窮乏シテ居ル所ノ地方ヲ更ニ苦シメテ居ル、益、地方ノ財政ハ苦シム一方デアル、災害ガ一ツアレバ政府カラ救済シテ呉レル、呉レルケレドモ、ヤハリ其

一部分ハ其地方ノ負擔ニナッテ行ク、斯様ナ情勢ニナッテ居ルノデアル、之ヲ各地方々々ノ實情ニ即シテ、サウシテ御互ノ負擔不均衡ノ間ノ何分カデモ補ヒ、裕リヲ付ケテ、

地方ノ財政ヲ調整シテヤラウ、是ガ地方財政調整交付金ノ起ル所デアル、デ一般的税制整理ヲナサルト云フコトデアレバ、必ズ此點ニ向ッテ十分ナル御考慮ガナケレバナラヌ、其十分ナル御考慮ガアッタニ拘ラズ、一般的税制整理ヲ爲サル其前ニ於テ、斯様ナル大増税トナルベキ臨時利得税ヲ突如トシテ御設ケニナッテ、

其御設ケニナッタノハ何時迄オヤリニナル積リデアルカト言ヘバ、ソレハ一般的税制整理ヲスル時迄ノ積リデアル、斯ウ御話ニナッタ、ソレデ地方財政調整交付金ノ方ハドウ爲サルカト言ヘバ、急ヲ要スル事デアルカラ、一般的税制整理ト併セテ考フベキ事デアルケレドモ、若シ國策審議會ガ出來タナラバ、先ヅ第一ニソレニ掛ケテ地方財政調整交付金ノ問題ヲ付議スル積リデアル、

斯ウ御答下サレタコト、解釋致シマシテ、私ハ總理大臣ニ對スル差掛ツタ問題ハ此程度ニ止メテ置キマス

○岡田委員長 大山君ハ總理大臣以外ニマダ御質問ガアルノデシタカ

○大山委員 此間カラ申上ゲテ居リマス
ガ……

○岡田委員長 外務大臣、商工大臣二人デ
スネ

○大山委員 私ハ是デ宜シイノデゴザイマ
スガ、幸ニ總理大臣ガ御出席ニナッテ居ル
コトデスカラ、他ノ委員ノ方ガ代ッテ何カ
御質疑ガアレバ……

○岡田委員長 ソレデハアナタノ質問ヲ留
保シテ置イテ、後藤君ニ……後藤君、今御
質問ガアリマスカ

○後藤委員 私ハ大藏大臣ニ先ヅ御尋ヲ致
シマシテ、其後ニ於テ總理大臣ニモ御意見
ヲ承リタイト思ヒマス

○岡田委員長 ソレデハ一寸御待チ下サ
イ、今直グ大藏大臣ガ御見エニナリマスカ
ラ——後藤君

○後藤委員 私ハ公債ノ問題ニ付キマシ
テ、二三ノ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、公
債ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ豫算總會等
ニ於キマシテ多クノ質疑應答ガアリマシタ
ノデスガ、私ハ尙ホ二三ノ疑點ニ付テ御伺
致シタイト思フノデアリマス、公債ノ圓滿
ナル發行ヲスルト云フコトハ、國民ガ公債
ニ對スル信用ヲ有ッテ居ルカ、有ッテ居ナイ
カト云フコトニ依ッテ岐レルノデアルト思

ヒマス、此點ハ大藏大臣ハ屢、斯様ナ意味
ノコトヲ委員會ニ於テ言明シテ御出ニナル
ノデアリマスガ、ソコデ公債ガ國民ノ信用
ヲ維持スルト云フコトニハ、然ラバドウ云
フコトガ一番宜イカト云ヘバ、之ヲ無制限
ニ發行シテハナラヌト云フ結論ニ到達スル
ガラウト思ヒマス、ソコデ無制限ニ公債ヲ
發行シテハナラヌト云フコトニハ、將來我
國ノ財政上カラ觀テ、例ヘバ歳出ガ段々減ッ
テ行クト云フ見込ガアルカ、或ハ歳入ガ段
段殖エテ行クト云フ見込ガアルカト云フヤ
ウナ、將來多少ノ見据ガ付イテ居ルト云フ
コトニ依ッテ、初メテ公債ト云フモノガドウ
云フ狀態ニナッテ行クト云フコトガ分ルノ
デアルト思ヒマスガ、此公債ヲ無制限ニ發
行スルコトガ國民ノ信用ヲ傷ツケルト云フ
コトニナレバ、此點ニ關シテ大藏大臣トシ
テハ將來ドウ云フ見据ヲ御有チニナッテ居
リマスカ、此一點ヲ第一ニ御伺致シマス

○高橋國務大臣 此問題ハ儘カ豫算總會デ
モ、貴族院ノ本會議デモ述べタト思ヒマス
ガ、此公債ノ無制限發行ト云フコトハ、無
論ハ言ベクシテ行ッテハナラヌ事デアリ
マス、今アナタノ仰シヤル國民ノ信用ト
云フノハ、公債ノ爲ニ日本ノ國民ノ信用ガ
起キヌト云フ意味デ、國民ガ公債ヲ信用ス

ル、其信用ガ無クナルト云フ意味ガラウト
解釋シマス、國民ニ其國ノ公債ノ信用ガ失
ハレルト云フコトハ、詰リ國民ノ貯蓄ノ力
ガ、公債ヲ齟齬スルノニ及バナイ、國民ノ
貯蓄ノ力以上ニ政府ガ公債ヲ發行シテ、今
我國デヤッテ居ル方法ニ依レバ、日本銀行ニ
請負ハセル、詰リ背負込マセル、サウシテ
政府ハ日本銀行ノ兌換券ヲ得テ、サウシテ
ソレヲ政費ニ使ッテ行ク、サウシテ日本銀行
ニ引受ケタ公債ハ、國民ガ之ヲ消化スルコ
トガ出來ナイ、斯ウナツタ場合ニハ、第一ニ
日本銀行ノ兌換券ト云フモノガ、段々ト安
クナッテ行ク、之ヲ大戰争時分ノ其後ノ例デ
言ヘバ、例ヘバ獨逸ノ「マーク」ガ日本ノ其
當時ノ金ノ三錢ニナツタ、或ハ佛蘭西ノ「フ
ラン」ガ一錢五厘ニナツタノト殆ド同様デ
アル、其國ノ通貨ニ信用ガ無クナル、通貨
ニ信用ガ無クナルカラ、無論公債ニハ信用
ガ無クナル譯デアリマス、公債ニ信用ガ無
クナルト云フヨリ先ニ、此影響ハ通貨ニ及
ンデ來ル、ソレデアリマスカラシテ、常ニ
國民ノ消化力如何ト云フコトヲ考ヘテ、公
債ハ發行シナケレバナラヌ、サウ云フコト
ヲ此間モ言ッタノデアリマス、通貨ノ信用ヲ
失フト云フコトハ、今ノヤウナ、政府ガ無暗
ニ公債ヲ發行シテ、國民ノ消化力ニ不相應

ナ高ヲ發行スル、ソレガ爲ニ通貨ガ澤山殖
エテ、所謂「インフレーション」、性質ノ惡イ
「インフレーション」ニナリ、通貨ノ價ガド
ン／＼下ッテ行ク、公債ノ價モ同時ニ下ル譯
デアル、其處マデ政府ガ公債ヲ發行スルノ
ハ宜シクナイ、其前ニ其處マデ行カナイヤ
ウニ方法ヲ立テナケレバナラヌ、御分リニ
ナツカドウカ知リマセヌガ、公債ノ信用ト
云フコトハ、ソレヨリモ先ニ通貨ニ信用ガ
無クナリ、其結果矢張り公債バカリデヤナ
イ、總テノ有價證券ニマデモ及ンデ來ルト
云フコトニナルノデアリマス、其結果ハド
ウナルカト云ヘバ、國民ノ生産力モ衰ヘテ
來ル、失業者モ出來テ來ル、斯ウ云フ順序
デ、益、不景氣ニナッテ行クト云フコトニナ
ルノデアリマス

○後藤委員 其事ハ後ニ私ハ尙ホ例ヲ舉ゲ
テ御質問申上ゲタイト思ッテ居ルノデアリ
マスガ、一口ニ申セバ現在ノ狀態デ參リマ
スレバ、公債ハ段々殖エテ行クバカリデア
ル、國民ノ消化力ハ果シテドレ位アルカト
云フコトハ、過般豫算總會等ニ於キマシテ
モ質疑應答ガアリマシタヤウニ、大體年々
ニ於ケル預金或ハ國民ノ貯蓄ノ力ト云フモ
ノハ、大體現レテ居ルノデアリマス、之
ヲ土臺トシテ考ヘル場合ニハ、決シテ今日

公債ヲ殖エテ行クト云フコトハ、所謂健全財政ト申シマスカ、我國ノ財政ノ上ニ安心シテ居ラレル遺方デハナイヤウニ吾々ハ考ヘル、ソコデ國民ガ公債ヲ消化スルト云ツタ所デ、國民ニ公債ニ對スル信用ガ無クテハ、國民ノ中デ公債ヲ買フ者ハ無クナル、現在ニ於テモ——後ニ私ハ申上ゲタイト思ヒマスガ、公債ノ市價ト云フモノハ、今日必シモ高イ値ヲ有ッテ居ルモノデハナイ、シテ見レバ、公債ガ段々安クナルト云フコトハ、國民ノ公債ニ對スル信用ガ薄ライデ行クト云フコトデアリマス、此情勢バカリデ行ッテハ、吾々ハ甚ダ我國ノ財政ノ上ニ於テ良イ現象デナイト思フ、是ハドウシテモ此公債ニ對スル國民ノ消化力ト、公債ノ發行高ト云フモノヲ考ヘマシテ、現在ノ財政ノ遺方デ行クナレバ——何トカ是ハ將來段々減ッテ行クヤウニシナケレバナラヌガ、ソレニ對シテ、何カ將來斯ウ云フ風ニシタナレバ、減ッテ行クデアラウト云フヤウナ御對策ガアルカドウカ、サウ云フ御見込ガアルカドウカト云フコトヲ御伺シタ譯デアリマス

○高橋國務大臣 公債ノコトニ付テ御心配

ニナルノハ無論結構ナ事デアリマス、誰モ心配シナケレバナラヌ問題デアル、併シ消

化力ノ標準ヲ——一口ニ言ヘバ國民ノ貯蓄力ト言ヒマスカ、銀行ノ預金、郵便貯金、サウ云フヤウナモノヲ以テ、其毎年殖エタ所ノモノヲ以テ、消化力ト假定スルヤウナコトガ随分多イノデアリマス、御承知ノ通り、郵便貯金、ソレカラ銀行ノ預金、サウ云フヤウナモノガ年々數字ニ現レルノハ、是ハ殘高ガ現レルノデアリマス、殘高ニ於テ昨年ヨリ幾ラ殖エタト云フコトニナル、必シモ公債ノ消化力ト云フモノハ、其殘高ガ極度デアルトハ斷定出來ナイ、サウ云フモノハ當座ノ勘定ヲ潛ッテモ、其殘高ニ現レル前ニ、其モノハ既ニ公債ニ消化サレテ居ルカモ知レナイ、又サウ云フコトガ往々アルノデアリマス、ソレダカラ公債ノ消化力ト云フモノハ、必ズ郵便貯金、銀行ノ預金、保險會社ノ金ト云フヤウナモノニ限ラレテ居ル譯デハナイ、其外ニ矢張サウ云フモノヲ潛ッテ、殘高ニ現レル前ニモウ公債ニ變ッテ居ル金ガ随分アル、個人ガ公債ニ投資シタリ、銀行諸會社ガアルノデモ其通りデアリマス、ソレダカラ其處ノ所ガ標準デスネ、今ノ所デ公債ノ將來ノ見据ハドウカト云フト、今日マデノ所ハ度々申上ゲル通り、今ノ所ハ最早此上出シテハイカヌト云フヤウナ、切迫シタ狀況ニハナッテ居ラス、

依然トシテ矢張殆下日々ト云フ位、多少ニ拘ラズ公債ノ買入ヲ日本銀行ヘ請求シテ來ル者ガアル、大キナ高ノモノハ、必ズ銀行ガ多イノデス、併ナガラ證券取扱業者ナドノ言ウテ來ル五萬圓、或ハ十萬圓、多キハ三十萬圓ト云フヤウナモノハ、是ハ何ノ爲ニサウ云フモノヲ買フノカト云フコトヲ、一日本銀行ガ問ヒ質シテ見ルト、是ハ得意先ノ註文デアル、斯ウ云フヤウナモノハ殘高ニ現レル其以外ノ力デアリマス、消化力デアリマス、ソレデ最後ノ御尋ノ一體將來ドウスルノカト言ヘバ、是ハ先刻申ス通り無理ナ發行ハ出來ナイ、公債ノ市價ガ下ル、此公債ノ發行方法ヲ變ヘテ以來、今日マデ相當ノ高ガ發行サレテ居ルガ、是マデニ政府ノ發行シタ公債——日露戰爭ノ時ハ別ダガ、サウ云フ平時ニアッデ公債ヲ發行シタノハ、昭和七年以來發行シタ程大キナモノハナイデセウ、然ルニ其以前ノ公債ノ市價ト云フモノハドウ云フモノカ、今程ノ變動ナクシテハ居ラナカッタ、併シ其發行方法ヲ改メテ以來ト云フモノハ、發行價格ヨリ市價ガ下ルト云フコトハナイ、何故カト云ヘバ、發行價格ニ於テ何時デモ日本銀行ガ賣ッテヤルノダシ、ソコヘ持ッテ來テ事業ガ今日ハアル、事業ガアッテ、若シ日本銀行デ賣ッ

テヤラナケレバ、公債ノ市價ト云フモノハドン／＼騰ル一方デアル、サウ云フコトハ宣シクナイ、成ベク公債ノ市價ナドト云フモノハ餘リ變動ノナイ程尊イノデアアル、ソレカラ公債ノ——先達テ何處カデ言ウタガ、私ハ公債發行ノ限度ヲ見ルコトニ二ツノ原因ガアル、一ツハ今ノ通り國民ノ貯蓄ノ力ガ之ヲ消化スル其限度以上ニ政府ガ公債ヲ發行スル、サウスレバ今言フ通り通貨ノ價ガ下ッテ來ルカラ信用ハナクナル、ソコニ至ッデ公債ノ發行ト云フヨリハ、寧ロサウナッテ尙ホ政府ガ發行スレバ、印刷局デ以テ政府ガ紙幣ヲ發行スルト同ジ結果ニナル、サウ云フコトハ宜シクナイ、ソレカラ第二ノ原因ハ民間ニ資本ヲ投下スベキ有利ナ仕事ガ澤山起ッテ來テ、サウシテ公債ニ投資スルヨリハサウ云フ方面ニ投資シタ方が宜イト云フコトニナッテ、益々産業ガ榮エテ來ル、商工業ガ非常ニ繁昌シテ來ル、斯ウ云フ場合ニナルト國民ノ貯蓄力ハ多ク其方ニ向フ、比較的低位ナ公債ニ向フヨリハ、サウ云フ方ニ資本ガ入ッテ來ル、斯ウナルト公債ノ消化力ガサウ云フ場合ニハ矢張り減ル譯ニナル、併シ一方ニ於テハ國家ノ商工業ガ榮エテ來ルノダカラシテ是ハ却テサウアリタイ、サウナッタ場合ニ初メテ政府

ノ歳入モ自然ニ増加シテ來ル、往年ノヤウニ自然増收トナデ來ル、ソレカラサウ云フ時期ガ來レバ一般的ニ増税ノ機會ガ玆ニ現レテ來ル、サウナッテ來ルト政府ハ減債基金制度ヲ確立シ、一方ニ於テハ成べく公債ヲ減ラシテ行クト云フ方法ヲ採ル、一方デ租税デ徵ツテ、公債ヲ減ラシテ、其公債ノ償還ヲ受ケタ金ハ又民間ノ産業ノ資本トナッテ働クト云フヤウニナッテ、益々國家ハ榮エテ行ク譯ナノデアリマス、サウ云フ結果ヲ齎ス爲ニ公債ノ消化力ガ減ルト云フコトハ、是ハ却テ國家ノ爲ニ喜ブベキ事ダト思フ

○後藤委員 其點ハ大體自分モ了承致シテ居ルノデアリマスガ、現在ノヤウニ、行當リバツトリト言フト甚ダ語弊ガアルカモ分リマセヌガ、現在ノ如キ内閣ノ組織ト申シマスガ、其下ニ於テヤラレルナラバ、此公債ノ段々殖エテ行クト云フコトハ、實際トシテハ相當ニ是ハ考慮シナケレバナラヌ事デアルト思ヒマス、ソレガ爲ニ今回國策審議會ト云フモノヲ作ッテ、國家ノ財政其他ノ根本政策ヲ確立サレルノダラウト思ヒマス、其見地カラ吾々ハ公債ノ殖エルノハ必シモ悲觀スル譯デハナイ、我國ノ財政ノ根本策ヲ建テラレテ、サウシテ國民ガ現在ノ

如ク憂慮シテ居ル、公債ニ對スル考方ヲ一掃サレタイト云フコトヲ吾々ハ希望スルカラ、此御質問ヲ申上ゲルノデアリマス、第二ニハ矢張り公債ニ對スル信用ト云フコトニ付テハ、國民ガ色々脅威ヲ受ケルト云フヤウナ關係ガアル、例ヘバ最近ニ於テハ千九百三十五、六年ノ危機ダトカ、陸ニ於テハ日露戰爭ガ起リハセヌカ、海ニ於テハ太平洋ニ於テ亞米利加トノ間ニ衝突ヲ來シヤシナイカト云フヤウナ懸念ガ、國民ノ間ニ必シモナイトハ言ヘナイト思ヒマス、又軍部豫算ガ非常ニ大キイノヲ見テハ、或ハ是ハ戰爭ノ用意デハナカラウカト考ヘル國民モ相當ニアルト思ヒマス、是ハ矢張り公債ニ對スル信用ニモ關スルノデアル、戰爭ガ起ッタナラバ、一時ニ公債ガモット出ルノデヤナカラウカ、斯ウ思フト、國民ハ公債ニ對スル不安ノ念ヲ持ツコトハ當然デアルト思フノデアリマス、是ハ寧ろ軍部兩大臣ニ御尋ヲ申上ゲ、希望ヲ述べタ方ガ宜イノカモ分リマセヌケレドモ、兎ニ角國家トシテハ、斯様ナ戰爭ニ對スル脅威ト云フヤウナモノヲ國民カラ一掃サル、コトガ、公債ニ對スル非常ナ不安ヲ一掃スルコトニナルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテ、政府トシテハ何等カノ御工作ヲナサッテ

居ルノデアアルカドウカ、之ヲ伺ヒタイ
○高橋國務大臣 只今ノ御尋ハ洵ニ御尤ナ御尋デ、國民全體ガ——國民全體トハ申サナクとも、大分戰爭デモ起リハセヌカ、サウスルトモット公債ガ出ヤセヌカ、何トナク不安ノ念ニ驅ラレテ居ル、是ハ獨リ我國ノミナラズ、世界的ニ皆サウデアッテ、是ハ宜シクナイノデアル、併シ此問題ハ大問題デアッテ、今ノ御話ノ通り、海軍陸軍兩大臣ト雖モ、自分達ノ考トシテハサウ云フ戰爭ナドヲ起ス考ハ微塵モナイノデアル、ドウモ世界何處ノ國デモ、一方ニ於テハ軍縮ノ問題ガアルニモ拘ラズ、動トモスルト云フト力デ爭ヲ決スルト云フヤウナ傾向現レル、是ハ前ノ亞米利加ノ國務次官ガ此頃言ウテ居ルヤウニ、今日軍備ヲ縮小スル、平和ノ爲ニ戰ヲナカシムルト云フヤウナコトハ、獨リ軍部ニノミ依頼セズニ、國民全體ニ於テ、各國民ノ道義ノ觀念ニ懇ヘタラ宜イデヤナイカ、各國民ガ互ニ憎ンダリ爭ッタリスルト云フヤウナ、サウ云フ心ガ失ハレテシマヘバ、軍備縮小モ何モ問題ハナクナル、其各國民ノ道義心ガ養ハレナイデ、ソレニ眼ガ覺メナイデ、唯戰ヲスル鐵砲ヤ艦ノ數ヲ減セバ宜イト言ウタ所デ、到底駄目ナ話ダ、ソレデ各國ノ識者政治家ハ其處

ニ努力セナケレバイカヌト云フヤウナコトヲ言ウテ居ルガ、私モ實ニサウダト思フ、我國デモ此節ハ小學校ノ兒童マデガ動モスルト戰氣分デアル、是ハドウモ困ッタモノダ、アナタ方ハ道義ノ觀念ヲ國民ノ間ニ養成シテ、ソシテ必要ハナイ、戰ナドハ起リヤセヌ、又シテハイカヌノダト云フコトヲ知ラシメナケレバナラヌ、殊ニ我國ハ仁義ヲ以テ政治ノ要諦トシ、歐米人ガ利ヲ以テ政治ノ要諦トスルノトハ遙ニ違ッタ優秀ナ國民デアルノダカラ、彼ト一緒ニナッテ、其道義觀念ヲ失ッテ、唯力デ爭フヤウナ考ハ低イゾト云フ意味デ、ドウカ國民ヲアナタ方ニ指導シテ貰ハヌトイカヌノデアル(笑聲)

○後藤委員 イヤ洵ニ吾々モ大藏大臣ノ御答ヲ欣快ニ思ッテ居ルノデアリマスガ、併シ逆ニデス、政府部内デハアリマセヌケレドモ、我國ノ一部分ニハ——專門家ト申シマスルカ、或ル一部ニ於テハ、盛ニサウ云フ空氣ヲ宣傳サレルヤウナ傾向ガアルカニ吾々ハ聞イテ居ルノデアリマス、又色々ナモノデ讀ムノデアリマスガ、斯ウ云フコトハ我國ノ公債政策カラ考ヘマシテモ、非常ニ影響ガアルコトデアリマスカラ、政府トシテハ特ニサウ云フ聲ヲ放ツヤウナ所ヲ御承

知デアラナラバ、サウ云フ聲ヲ放タシメナイヤウニ、吾々トシテ又國民ヲ指導スルコトモ當然デアリマスガ、政府モ此點ニ付テ深キ御留意ヲシテ戴キタイト云フコトヲ御願シテ、サウシテ斯様ナル不安ノ念ヲ一掃シタイト吾々ハ考ヘルノデアリマス

次ニ御尋致シタイトハ、只今申上ゲタヤウニ吾々ハ戰爭ナドノ起ルコトハ全ク禁物デアルト考ヘテ居リマス、殊ニ我が帝國ノ建前ト致シマシテハ、東洋ノ平和ヲ確保シ、大藏大臣ノ御話ノ如ク仁義ト云フ所ニ立脚シテ、サウシテ世界平和ノ爲ニ貢獻スルト云フコトガ、我國ノ建前デアリマスカラ、戰爭ノ起ルナドト云フコトハ吾々ハ考ヘテハナラヌノデアリマスシ、又左様ナ事ガアッテハナラヌト云フコトヲ祈ッテ居リマス、ケレドモ是亦相手ノアルコトデアルカラ、ドウ云フ機ミデ、ドウ云フ所デ足ノ踏ミ合ヲセヌニモ限ラナイ、サウ云フ場合モ必シモ吾々ハ豫想シテナラヌト云フ譯デハナク、寧ろ吾々モサウ云フ事ガアッタ場合ニハ、現在ノ我國ノ財政上ノ見地カラ觀テドウ云フコトニナルカト云フコトモ、一應ハ憂慮シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、左様ナ場合ニ於キマシテ、假ニ——吾々ノ絶對ニ願ハヌコトデアルケレドモ、戰爭ノ起ルト云フ

ヤウナ場合ガアッタナラバ、巨額ノ金ガ必要デアリマスガ、現在ノ我國ノ狀態トシテハ、左様ナ巨額ノ金ノ準備ガアルヤウニモ考ヘラレヌ、例ヘバ過般ノ戰爭ニ於テ、英國ハ八百十二億、獨逸ハ七百六十五億使、タト云フヤウナコトヲ吾々ハ聞イテ居ルノデアリマスガ、斯様ニ戰爭ト云フモノガ一度起レバ、我國ハ巨額ノ金ヲ必要トスルノデアルカラ、斯様ナ場合ガアッタナラバト云フ假定デアリマスケレドモ、斯ウ云フ場合ニハドウ云フヤウナ對策ヲ立テヨウトナサルノデアルカ、若シ大藏大臣ニ於テ、之ニ對スル夢ノヤウナ御考デモ宜シイ(笑聲)オアリニナリマスナラバ伺ッテ置キタイ

○高橋國務大臣 夢ノヤウナ考ヲ申上ゲテモ仕様ガアリマセスカラ、是ハ御斷リシタ方ガ宜イカモ知レヌ、將來若シ戰ガ始ッタラドウスルト云フヤウナコトハ……、併シ今御話ノ通り、我國ハ仁義ヲ基トシテ政治ヲ執ル、他所ノ國ハ往々利ヲ基トスル、ソレハ天ノ道カラ考ヘテ見タナラバ、日本ノ政治ノ要諦、仁義ニ立脚シテ行クト云フコトハ洵ニ道ニ適ッタコトデ、結構ニ違ヒナイ、ケレドモ各國民族皆生立チガ異ンデ居ル、習慣モ異ンデ居ル、ソレデアリマスカラ、他國ニ接スル場合ニ於テハ、如何ニ我國ガ仁義

ヲ基トシテ正シイ政治ヲスルノダ、平和ヲ確保スル爲ニヤルノダト云フ、其主義ガ幾ラ善クトモ、此平和主義ヲ無理ニ他所ノ國ニ、之ニ從ヘト云フコトマデハドウモ行キ兼ねル、先刻御話ノ通り相手ガアル、相手ガ承服シナケレバ力デヤルゾト言ヘバ戰爭ニナル、併シソレハドウモ國際ノ間ノ交渉ノ道デナカラウト思フ、如何ニ我國ハ正シクアッテ、向フガ間違ッテ居ルデモ、向フガ容レレバ宜シ、容レナケレバ叩イテデモ我が道ニ服從サセルゾト言フノハ、ソレハモウ仁義ノ道ヲ外レテ居ヤシナイカ、其場合ニ於テハ其事柄ノ實質ニ付テ能ク認識ヲシテ、彼ノ事情、彼ノ心理狀態、總テノ事ヲ實際ニ付テ認識シテ、サウシテ互ニ是ハ融和ノ精神ニ依ッテ事ヲ捌クト云フノガ本當ノ道グラウト思フ、兎角此頃ハ新聞ヤ雜誌ニ洵ニ勇壯ナ言葉デ以テ、我が皇道ト云フモノガ正シカラト云ッテ、之ヲ押賣スルヤウナ勢ヲ以テ色々書カレテ居ル、彼ガ服サナケレバ、我ハ力ヲ以テデモ之ヲ服サセルゾト言フナラバ、ソレハモウ皇道ニ外レルモノデハナイカト私ハ考ヘル、是ハ夢物語デスカラ左様御承知ヲ願ヒタイ(笑聲)

○後藤委員 大藏大臣ノ夢物語ヲ謹ンデ拜聽致シマシタ、併シ是ハ勿論只今仰セノ通

リデアリマシテ、我國トシテハ飽マデ正義ト人道トニ立脚シテ外交ヲ進メテ行クト云フコトハ當然デアリマス、ガ併シ實際ニ於キマシテ一ツノ國家ヲ造リ、一ツノ民族ガ生存ヲシテ行ク上ニ於キマシテハ、或ハ國威ノ發揚ヲ傷ツケラレルヤウナ場合、必シモ無抵抗デ行クト云フ譯ニハ行カヌ場合ガアルカモ知レヌ、斯ウ云フ場合ニ對シテ我國トシテモ、イザ鎌倉トナッタ時ニドウスルカト云フ位ノ見當ハ、政府當局トシテ常ニ持ッテ居ル必要ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレハ甚ダ只今ノ御話ノ夢物語デアルカモ分リマセヌケレドモ、矢張サウ云フ點ニ對シテモ常ニ御留意ヲシテ置イテ戴キタイト云フコトヲ希望ヲ致ス次第デアリマス

次ニモウ一ツ今度ハ公債ノ市價ノコトニ付テ一寸御伺致シタイ、例ヲ以テ申シマスルト、五分利公債ガ昭和九年ノ九月十七日ニハ百六圓四十五錢、ソレカラ八月二十八日ニハ百九圓二十五錢デアッタ、其後百二圓臺ニナッテ居ル、又四分利デハ昭和九年六月ノ平均ガ九十九圓四十錢デアッタ、八月ニハ九十九圓二十七錢、九月十八日ニハ九十八圓十錢トナッテ居ル、其後ハ九十九圓内外デアリマスガ、是等ノ公債ノ下落シタト云フコ

トハ、政府が借換ヲスルノデナイカト云フ
懸念カラデアラウト思ヒマス、萬一、四分
利ニ付テ申シマスナラバ、九十八圓五十錢
ト云フ發行價格ヲ割ルト云フヤウナ場合ガ
アリマシタ時ニハ、矢張是ハ吾々ハ公債ニ
對スル國民ノ信用ガ無クナッタノデナイカ
ト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於
キマシテ矢張政府トシテハ、相當ノ對策ヲ
考ヘネバナラヌノデアリマスガ、米國ハ昨
年ニ於キマシテ相當國費ヲ以テ公債ヲ買上
ゲテ居ルト云フ例モアリマス、昨年ニハ五
億二千萬弗位矢張り國費ヲ以テ買上ゲテ、
サウシテ公債ノ市價ヲ維持シテ居ルト云フ
實例モアルノデアリマスガ、我國ニ左様ナ
ル場合ガアッタ時ニ、是等ハ亞米利加ノ如
キ、澤山ノ政府ニ餘裕ガアッタ場合ニハ、宜
イノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ
金ノナイ我國ノ狀態ニ於テ、而モ發行價格
ヲ割ル、國民ノ信用ヲ薄メルト云フヤウナ
場合ガアッタ時ニ、大藏大臣トシテハドウ云
フ對策ヲ講ゼラレルカ、斯ウ云フ事ヲ御尋
致シマス

○高橋國務大臣 サウ云フ場合ニ處スルコ
トヲ今日豫メ言フコトハ、却テ良クナイト
思ヒマス、唯此公債ガ前ニハ市價ガ上ッ
リ下ッリシタト云フノハ、公債ト云フモノ

ヲ矢張り投機者ノ手デ遣取リガアッタ其結
果ガ多イノデアリマス、ソレデ今日「デ
ハ、日本銀行ニ對シテ政府ガ發行スル其發
行價格ガ本ニナッテ、ソレニヨリ下ルコトハ
ナクナッテ來テ居ル、ソレハ何故カト云フ
ト、一般ノ人ガ理解シテ來タ、諒解シテ來
タ、此公債ノ政府ノ發行方法ヲ——ソレカ
ラ公債ト云フモノガ今日デハ市價ガ動カナ
クナッテ來タト云フコトモ、公債ニ關心ヲ持
ツ原因ニナッテ來タ、ソレデ現ニ證券ノ賣買
ヲ商賣トスル其證券業者ガ、今日デハ日本
銀行ヘ得意先ノ注文ダカラト云ウテ買ヒニ
來ル、得意先ノ注文ガ是ガ事實デアルヤ否
ヤト云フコトハ、現在證券業者ノ手許ニ幾
ラ公債ヲ有ッテ居ルカト云フコトニ依ッテ分
ル、今日デハ公債ハ投機思惑ノ具ニハナラ
ナイ、又ソレヲ政府ハ望ンデ居ル、亞米利
加ノ如キハマダサウハ行カナイ、政府ノ公
債デモ諸株券ト同ジヤウニ投機思惑ノ具ニ
供セラレテ居ル、其惱ミハ今日ハ我國ニハ
ナイノデス、ソレデ公債ノ持手ガ公債ヲ有ッ
テ居ルノハ、利廻ガ悪い、モウ一寸確實ナ
モノガアレバ、之ニ放資シヨウ、公債ヲ賣
ラウト云フ時分ニハ、其時分ニハ、又政府
トシテハ之ニ處スル途ヲ考ヘテ居ル、ケレ
ドモ今日斯ウスルア、スルト言フコトハ却

テ良クナイ、又公債ヲ有ッテ居レバ、何時デ
モ日本銀行デハ金ヲ貸サヌトハ言ハヌ、貸
スノデス、公債ヲ賣リニ出ルト云フコトハ
何カ、ドウ云フ狀況デサウナッテ來ルカ、賣
ル人ハ或ハ自分ガ現金ニ換ヘテ一方ニ於テ
支拂フ必要ガアルカラデアル、サウ云フ人
ハ公債ヲ持ッテ行ッテ金ヲ借りルコトモ出來
ルシ、又公債ヲ賣ルト云フ手段モ今日デハ
アルノデス、證券業者ハ始終日本銀行ニ買
ヒニ來ル位デアルカラ、若シ素人ガ證券業
者ニ持ッテ行ッテ、公債ヲドウカ買ッテ呉レロ
ト言ッテナラバ、必ズ相當ナモノハ買フ位ノ
今日ノ有様デアル、愈々此公債ト云フモノガ
賣物ニ出テ、公債ノ値ガ下ッタト云フ時分
ニハ、政府ハドウスルカ、是ハ其時ノ各般
ノ事情ヲ調べテ、政府ハ最善ノ方法ヲ執ル
ト言フヨリ今日ハ申上ゲラレナイ

○矢野委員 今後藤君カラ公債ノ御話ガア
リマシタノニ關聯シテ、私モ一言御尋シタ
イト思ヒマス、今、後藤君カラ公債ノ市價ノ
コトニ付テ詳細シ統計ヲ讀上ゲラレマシタ
ガ、御承知ノ通り只今五分利公債デ二圓六
七十錢位ト思ッテ居リマスガ、私が申上ゲル
迄モナク、是ハ大藏大臣ニ於テ借換計畫ヲ
立テ、居ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ
財界デ考ヘテ、二圓六七十錢ト云フ値段ガ

出テ居ルノデヤナイカト私ハ思ッテ居ルノ
デスガ、丁度先刻利率別ニ依ル公債ノ現在
高ノ調ヲ戴イタノデス、ソレニ依ルト五分
利公債デ据置期間經過ノモノハ三十九億、
ソレカラ四分利半ガ七億餘アル、ソレデ大
藏大臣ニ於テ借換ト云フコトヲ今御考ニ
ナッテ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ私共
考ヘマスガ、又財界ニ於テモサウ云フ風ニ
考ヘテ値段ガ出テ居ルヤウニ思フノデス
ガ、此點ニ對シテドウ云フ風ニ御考ニナッ
テ居ルノデゴザイマセウカ

○後藤委員 其點ニ付テ一寸併セテ私モ同
ジ事デスカラ御尋シテ、一緒ニ御回答ヲ得
タイト思ヒマス、只今矢野君カラモ御尋ガ
アリマシタガ、私モ其點ハ御尋シタイト思ッ
テ居ッタ點デアリマス、公債ガ昨年來下落致
シタト云フコトハ、他ニモ事情ガアルカモ
分リマセスガ、ドウシテモ借換懸念ト云フ
コトガ、最も重要ナ一原因デアルト吾々ハ
考ヘテ居ルノデアリマス、四分利半モ下落
シテ居リマスガ、五分利モ下落シテ居ル、
是等ハ總テ皆借換懸念カラ來テ居ルモノデ
アルト吾々ハ思フ、而モ政府トシテハ過般
借換ヘズト云フ聲明ヲシテ居ラレルニ拘ラ
ズ、尙且ツ下落シテ居ルノデアル、併シ國
民ハドウシテモマダ借換ヘル計畫ガアルノ

デヤナカラウカ、ト云フコトヲ懸念シテ居ルカニ、吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、矢張現在ト雖モ大藏大臣ハ、眞ニ借換ヘズト云フ御考ヲ有ッテ御出デニナルノデアリマスカ、其點ヲ一ツハッキリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 今ノ御話ハ借換ヘヌト云フノカ、借換ヘルト云フノカ、ドッチデスカ

○後藤委員 借換ヘルカドウカト言フノデス

○高橋國務大臣 是ハ公債借換ニ付テハ、私屢言ウテ居ルノデアアル、今日ハ其時機ニアラズ、借換ヘナイ、今日ハサウ云フ時機ガ來テ居ラス、斯ウ云フノデアアル、ソレカラ公債ノ借換ト云フコトハ、一時世間デハ必ズ公債ヲ借換ヘルト云フ考ヲ起シタカモ知レヌ、ト云フモノハ隨分雜誌ヤ新聞ノ上ニハ、政府ハ此際公債ヲ借換ヘルガ宜イデヤナイカ、サウシテ利息ヲ四分ニシタナラバ幾ラニナル、三分五厘ニシタナラバソレデ幾ラノ歳出ガ減ルト云フヤウナ議論ガ隨分盛ダッタ、ソレダカラ政府ハ公債ヲ借換ヘルドラウト云フ考ヲ有ツ人モ出來タラウト思ハレル、ケレドモ私ハ始終言ウテ居ル、償還期限ノ來タモノハ是ハ借換ヘル、償

還期限ノ來タ公債ニ關シテハ、先ヅ今日ノ四分ナラ四分ノ利息ノ公債ノ償還資金ヲ募ッテ、サウシテ現金ヲ返スト云フコトニナルカラ借換ヘルト云フコトニナル、ソレカラ償還期限ノ到達シナイモノデモ据置年限ノ濟ンダモノ、今御話ノ五分利ガ三十九億圓、四分五厘ガ七億圓、サウ云フモノハ今日ハ政府ノ權利トシテ借換ヘテモ差支ナイ、併シ屢言フ通り借換ヘルト云フコトハ、一方ニ於テ現金ヲソレダケ用意スルト云フ、全部用意シナクテモ、是デ借換ガ實行ガ出來ル、無理ヲセズニ借換ガ出來ルト云フ見据ガ付カナケレバ、是ハ出來ナイ話デス、唯政府ノ命令一ツデ以テ、是迄ハ五分ノ利息ヲ拂ッテ居ッタガ、是カラハ四分シカ拂ハヌゾト云フコトハ出來ナイ、ソレナラ何時借換ヘル時ガ來ルカト云フコトニナルト、是ハモウ二三回モ申シタコトガアル通り、將來政府ハ今日ノ如キ赤字公債ヲ續ケテ出シテ行クト云フ必要ヲ認メナクナル、自然増收、若クハ増稅政策ニ依ッテ減債基金ト云フモノガ一般ニ具ハッテ實行ガ出來ルヤウニナル、ソコデ初メテ是ナラ低利ニ高利ノ公債ヲ借換ヘルト云フ見込ガ付イタ時ニ行ハレル、ソレハ前途マダ遼遠ダラウト考ヘル、近キ將來ニサウ云フ時機ガ

來ナカラウ、ソレデアリマスカラ、今日一方デハ公債ヲ借換シヨウト云フ說モ既ニアルヤウダケレドモ、實行上カラ考ヘルト、今日ハマダ其時機デハナイト考ヘル

○矢野委員 一寸關聯シテ御伺致シタイ、私共此借換ニ付テ、私ガ申上ゲズトモ能ク御承知デセウガ、四十億カラノ公債ヲ一年デ借換ガ出來ルトハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ少クモ日本ノ財界ノ趨勢カラ推シマシテ、五箇年位ニ借換シヨウト云フ御計畫ナラバ、三十九億何ガシノ五分利公債ハ、借換可能デハナイカト考ヘテ居リマス、一年デ四十億全部借換ヘルト云フコトハ、私共モ出來ルトハ思ッテ居ナイ、五箇年位ノ計畫ヲ立テ、オヤリニナレバ出來ルト考ヘル、大藏大臣ハソレハ出來ナイノダト言ヘバ、ソレハ意見ノ相違デアルカラ致方ガナイガ、私共ノ貧弱ナ意見デソナコトヲ考ヘテ居ルノデスガ、其點ハ如何デスカ

○高橋國務大臣 ソレハドウモ意見ノ相違ニナリマセウ、私ハ五年間デ三十何億ト云フ公債ノ借換ヲヤルト云フヤウナ豫斷ハマダ今日出來マセヌ、私ハ度々申ス通り財界ガ全面的ニ恢復シテ、サウシテ自然増收モ相當ニ殖エ、又一面ニ於テハ稅制整理デ増稅モ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ來マス

レバ、先ヅ第一ニ減債基金法ト云フモノヲ確實ニ實行シテ行カナケレバナラス、此減債基金ト云フモノハ、是ハ期限ヲ定メズニ、無理ノナイ所デ、自然ニ高利ノ公債ヲ低利ニ借換ヘテ行クト云フ働ヲ爲スモノデアアル、從來ト雖モ減債基金ト云フモノハ、政府ガ公債ノ市價ヲ維持スル爲ニ、大ニ用ヒラレテ居ッタノデアリマスガ、ソレハサウ云フヤウニ、唯市價ヲ維持スルダケデヤナイ、今度ハ高利ノ公債ヲ成ベク償還シテ、サウシテ低利ノモノニ換ヘヨウ、其場合ニ於テハ、今ノ赤字公債トハ違フ、新タニ四分利ナラバ四分利ノ公債ヲ發行シテ、五億ナリ、三億ナリ、一箇年ニソレダケノモノヲ發行シテ、サウシテ之ヲ高利公債ノ借換ニ充用スルト云フコトモ出來ルヤウニナル、其時機ヲ俟ッテ初メテ高利公債ノ借換ト云フ問題ガ解決出來ル、然ラバ其時機ハ何時來ルカト云フト五年ナリ、三年ナリ經テバ來ルト云フ見据ハ、今日マダ私ニハ立ッテ居リマセヌ

○矢野委員 御承知ノ通りニアノ日銀デ引受ケ居ル四分利ノ國庫證券、アレノ市價ハ四分一厘位デス、五分利公債ノ市價ヲ、二年後ニ於テ借換ヘルト云フコトデ計算スルト、私ハサウ云フ計算ハ十分ニ知ラナイケ

レドモ、矢張四分一厘位ニナッテ居ルヂヤ
ナイカ知ラント思ヒマス、サウスレバ借換
ノ可能デアルト云フコトガ財界ニ反映シテ
居ルト云フコトヲ言ヒ得ルノデアリマス、
サウスレバ一年ニ十億位、今後二箇年デ、
初メガ十億、次ガ十億ト云フ風ナ計畫デ、
六年位ノ期間ガアレバ借換ガ可能ヂヤナイ
カ、臨時利得税ヲ起スコトノ權衡カラ云ッ
テモ、五分利公債三十九億ノ借換計畫ハヤ
ラネバナラヌノヂヤナイカ、又外貨公債ノ
特別課税ト云フコトハ、殆ド是ハ財界ノ常
識トシテ論ジラレテ居ルノデアリマスガ、
ソレデ此點ニ付テ私ノ考ニ付テドウ御考ニ
ナルカ、更ニモウ一度伺ヒマス

○高橋國務大臣 只今ノ所デハ、私ハアナ
タノ意見トハ相違シマス、併シ其事ハ私モ
亦能ク考ヘテ見マセウ

○矢野委員 此點ハ十分一ツ御考慮願ヒタ
イト思ヒマス、御老體デ此非常時ノ大藏大
臣トシテ、屢御重任ヲ戴キマシタ事ハ甚ダ
恐縮ニ存ジマスシ、一般ニモ感謝致シテ居
リマスガ、斯様ナ大問題ハアナタヲ措イテ
ハ現在解決出来ヌヤウニ私共ハ考ヘテ居リ
マス、此外貨公社債ノ特稅課税ト、五分利
公債ノ借換ハ、是非一ツ大藏大臣ニ於テ御
心配ヲ願ヒタイト思フ

○岡田委員長 今日ハ是デ散會致シマス、
明日ハ午前十時ヨリ開キマスカラ其御積リ
ヲ願ヒマス

午後零時十六分散會

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲
公債發行ニ關スル法律案外一件委員會議錄
第六回中正誤

頁	段	行	誤	正
二	三	二	經濟「ブ ロツク」下 「化」	經濟「ブ ロツク」下 「化」
五	二	二〇	二十三「ボ イント」 「レイン」	二十三「ボ イント」 「レイン」
五	二	二六	管理制ト	管理制度ト
五	三	九	十一月	十月
六	二	七	「ルーズ」	「頑打チ」
九	三	二	アリマス ガ	アリマス ラ
一〇	四	一八	要望	興望
一一	三	五	對スル實 勢	對スル時機
一二	四	一〇	ト云フ トカ	

昭和十年二月十四日印刷

昭和十年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社